

”自転車を楽しんで“

富士商会

錦町のセーブオン近くに店舗を構える(有)富士商会は、創業より七十五年を迎えた地域密着型の自転車店である。店主下山陽さんの父親が市内の自転車店で修業した後、

現在の店舗の数軒隣で開業したのがはじまり。平成元年に今の店舗が完成した。ちょうどその時期に東京で初の自転車ショーが開催され、見学した陽さんは海外ブランド車をいち早く店頭に並べた。

現在、テレビ番組などでサイクリングが注目され、自転車ブームが起きているが、これまでにも小学生向けの変速

自転車ブームやマウンテンバイクブームなどもあったとい

注目!!

## 会員事業所からの発信

ユニーク!!

会員情報を無料で掲載します!  
希望会員は☎45-1201まで

販売を手掛ける事業所としては全国でも先駆けであり、一般的な流通ルートでは入手困難な珍しい商品を極小ロットで販売している。

顧客は、趣味で工作をする個人や会社、大学などさまざままで、遠いところでは小笠原諸島の母島からの注文もあるという。

山洞氏がパソコンを始めたのは、一九九五年の阪神淡路大震災の時。震災の影響で電

う。「自転車は実に地味な業種であるということは何より忘れてはならないのは、地域の皆様方の変わらぬご愛顧のおかげで今までやってこられたから」と謙虚に話す陽さんだ

クリングを楽しむんでいる。「商店街にお

が、自らが本場に良いと思うものを薦めるという姿勢がお客様の信用を生んでいる。「売ろう売ろうと焦らず、遊び心のある接客を大切にしている」という陽さん、買走るお客を

「商店街に乗って買いい物に行く姿が似合うようなまちに

ご自身も七十歳を迎えた今も現役の自転車ランナー。奥さんやチームの仲間と一緒に揃いのユニフォームでサイ

桐生への思いを語った。

話・FAXが不通となり、業務連絡の代替手段としてインターネットの前身であるパソコン通信を活用したのがきっかけだった。二年後の一九九七年、インターネットサービ

▽住所 桐生市 錦町三三三一  
▽電話 〇二七 七―四五一二九 八八

て企業規模の大小が価値判断のほとんどを占めていたが、「ネットビジネスで重要なことは『情報力』である」という確信のもと、「創意工夫を楽しむ」ことを原動力とし、情報力を高める努力を続け、

そのスタンスは今も変わらず、好奇心溢れるその様子は、これからも面白いことを企ててくれそう

山洞氏がパソコンを始めたのは、一九九五年の阪神淡路大震災の時。震災の影響で電

うだ。

山洞氏は事業へのネット活用の可能性をいち早く感じ取り、ネット販売を開始した。それまではビジネスにおい

お問い合わせはHPから  
△HP = <http://sandoh.net/>

”創意工夫を楽しむ“

山洞金物店

山洞金物店では、各種金属材料のインターネット販売を行なっている。創業四十八年の老舗金属卸問屋であり、現在は二代目の山洞貴正氏が店主である。金属材料のネット

山洞氏がパソコンを始めたのは、一九九五年の阪神淡路大震災の時。震災の影響で電

山洞氏は事業へのネット活用の可能性をいち早く感じ取り、ネット販売を開始した。それまではビジネスにおい

お問い合わせはHPから  
△HP = <http://sandoh.net/>



ユニークで好奇心旺盛な山洞貴正さん



二人で自転車を楽しむ下山さんご夫婦